

## 第3次神奈川県食育推進計画 指標総括表

◇進捗率の算出方法

$$\frac{\text{現状値} - \text{策定時の値}}{\text{目標値} - \text{策定時の値}} \times 100$$

基本方針	指標	計画策定時 (平成29年度)	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	現状値 (令和 3年度)	目標値 (令和4年度)	進捗率
健康な体をつくる	① 主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を心がけている県民の割合	73.6% (29年)	71.6%	74.0%	75.5%	76.5%	80%以上	45% (改善)
	② 朝食を欠食する県民の割合 ア (小学5年生) イ (中学2年生)	小5 4.6% 中2 8.8% (29年)	—	—	—	—	0%に 近づける	—
	ウ 男性 エ 女性 (15～19歳) (20～29歳) (30～39歳)	男性 女性 15.4% 15.6% 38.8% 27.3% 30.3% 21.6% (25-27年)	男性 女性 18.5% 17.2% 30.3% 32.6% 22.0% 14.8% (29-31年)	—	—	—	15%以下	28.3% (改善)
	③ 一日当たりの平均野菜摂取量	273.1g (25-27年)	271.6g (29-31年)	—	—	—	350g以上	△2% (悪化)
	④ 一日当たりの平均食塩摂取量	9.8g (25-27年)	9.6g (29-31年)	—	—	—	8g未満	11.1% (改善)
	⑤ ゆっくりよく噛んで食べる県民の割合	42.8% (29年)	45.6%	42.3%	53.5%	55.5%	50%以上	176.4% (達成)
	⑥ 食育の推進に関わるボランティアの数	7,712人 (29年)	7,698人	7,613人	7,136人	6,672人	8,300人以上	△56.5% (悪化)
	⑦ 就寝前2時間以内に食事をとらないよう気をつけている県民の割合	62.2% (29年)	60.8%	62.3%	60.2%	62.3%	70%以上	1.3% (改善)
	⑧ 食育に関心を持っている県民の割合	74.5% (29年)	73.0%	76.7%	74.3%	76.3%	90%以上	11.6% (改善)
	⑨ 朝食・夕食を家族と食べている、又は、一人暮らしの方で昼食・夕食を仲間など複数で食べている「共食」の回数	[家族] 週10回  [単身] 週3回 (29年)	[家族] 週9回  [単身] 週3回	[家族] 週11回  [単身] 週3回	[家族] 週9回  [単身] 週2回	[家族] 週9回  [単身] 週1回	[家族] 週11回  [単身] 週4回	[家族] △100%  [単身] △200% (悪化)

基本方針	指標	計画策定時 (平成29年度)	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	現状値 (令和 3年度)	目標値 (令和4年度)	進捗率
豊かな心を育む	⑩ 公立小・中学校の学校給食において地場産物を使用する割合	17.3% (28年)	17.0% (29年)	17.4% (30年)	17.0 (元年)	16.7% (R2年)	30%以上	△4.7% (悪化)
	⑪ 学校給食の残食率(野菜)の減少(公立)	5.3% (28年)	5.6% (29年)	5.5% (30年)	6.3% (元年)	6.4% (R2年)	5%以下	△367% (悪化)
	⑫ 食事のマナーを正しくできていると思う県民の割合	75.2% (29年)	75.5%	76.2%	77%	73.4%	90%以上	△12.2% (悪化)
食への理解を深め神奈川の食に親しむ	⑬ 農林水産業の体験や伝統ある食文化を伝えていく機会や場があることに満足している県民の割合	5.5% (29年)	6.0%	6.1%	6.2%	7.2%	6%以上	340% (達成)
	⑭ 地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられることに満足している県民の割合	24.9% (29年)	26.9%	25.6%	29.2%	29.1%	28%以上	135.5% (達成)
	⑮ 食べ物を無駄にしないよう気をつけている県民の割合	91.2% (29年)	84.1%	92.1%	91.6%	92.3%	96%以上	22.9% (改善)
	⑯ 食品の安全性に関する知識があると思う県民の割合	65.1% (29年)	87.6%	88.6%	87.0%	88.7%	90%以上	94.8% (改善)

出典

【①、⑤、⑦、⑧、⑨、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯】 県民ニーズ調査

【②(若い世代)、③、④】 県民健康・栄養調査 3年間の全数データの平均値

【②(小5・中2)】 県教育委員会「食生活に関する調査」

【⑥】 県健康増進課及び県農業振興課調べ(食生活改善推進員の方々やふるさとの生活技術指導士の方々、県内の市町村で把握されているボランティアさんの人数です。)

【⑩】 県教育委員会「地場産物の利用に関する調査」

【⑪】 県教育委員会「学校給食栄養報告書」